

第4回各務原市本庁舎耐震化基本構想策定委員会 議事概要

日 時 平成26年11月12日(水) 15時00分～16時10分
場 所 産業文化センター 8階第1特別会議室
出席委員 杉戸真太委員長、土井康生委員、藤吉里美委員、
小島秀俊委員、森勇委員、花田澄子委員、柳原幸一委員
五島伸治委員、広瀬正輝委員
欠席委員 福島茂副委員長、山本直委員、三浦真由美委員、
傍 聴 人 4名

1. 開会
2. 委員長あいさつ
3. 協議
4. その他
5. 閉会

議事録(要旨)

第3回委員会の振り返りについて

主な意見及び質疑応答
(委員長) 前回の委員会にて視察した江南市、小牧市についてまとめた報告を配布している。小牧市は新庁舎建設のほとんどを積み立てた基金で賄い、一方で江南市は他の大型事業を抱えるなどの財政的な理由から耐震補強したと聞いている。各務原市の財政事情について、建替えでも十分に対応化が可能かを事務局に再度確認したい。
(事務局) 本庁舎の耐震化事業については、耐震補強であっても建替えであっても、どちらの場合としても相当額の事業費が必要となる。本市の財政状況は、現在、健全性が維持されており、今後も庁舎等の整備基金を着実に計画的に積み立てるとともに、これまで積み立てた財政調整基金の有効活用、また自主財源の確保、事務事業のスクラップアンドビルド、行財政改革などにより、安定した行政サービスの継続と持続可能な財政運営の確保に取り組んでいく。本庁舎の耐震化事業については、対応可能であり、また対応しなければならない事業であると考えている。
(委員長) 耐震化事業に係る市の財政事情を確認したが、前回は建替えを前提として今後は議論していくとしましたが、委員の方々よろしいか。
(委員) 了承

議題1 新庁舎の基本理念及び基本方針について

主な意見及び質疑応答

(委員) 4つの役割があり、1が防災拠点、2が市民サービス、3が環境配慮、4が執務空間ということで、これは順序に重みがついていると考えるよりは、この4項目は並行して検討し、それぞれが機能をきちんと持つようにするということが挙げられていると考えてよろしいか。

市のいろいろな施策に関わる行政事務がきちんと効率よく行われることがとにかく一番大事だと思うが、一方で、防災拠点とか、また市役所ですから市民のサービスももちろん大事である。

(事務局) この4つの役割は並列であると考えて問題ない。

議題2 規模の検討について

主な意見及び質疑応答	
(委員)	総合福祉会館や産業センターはどうやって集約するのか。
(事務局)	この集約というのは、産業文化センターと総合福祉会館の庁舎部分、要は市役所機能の部分（産業文化センターの5階、6階、7階の庁舎部分と、総合福祉会館1階の健康管理課）を集約した場合ということになる。
(委員)	比較したときの建設費の比較について、新築は、1万2600㎡、1万7400㎡、どちらで算出したか。
(事務局)	両方とも出している。本庁舎のみの建て替えの場合は73億円、集約して建て替えた場合は100億円になる。数字の幅が大きくなる。
(委員)	2つの例を出してもらっても、点数をつけるには5割増しに近いような話になってくるので、単純に考えていいのかなという心配がある。あまりこの委員会だけで、基本だとは言いながら、適地の選定とか、あまり固く固めてしまわないで、できるだけ早くいろいろな人の意見をもっともって聞いていくべきではないか。将来の市の発展を考えながらまちづくり、都市計画的な意味でも取り組むべきではないかと思う。特別にチームを作って、市の内外、例えば国内の識者とか、いろいろな人の意見も聞きながら各務原市の将来に向かっての意見を集約した中でのまとめができるというのではないか。移転となると、単体だけの話ではなくなる。その周辺のインフラ整備とか、道路アクセスの課題がある。名鉄、JRの立体の問題とか含めると、また何十億とお金がかかってくる。しかしそれをやってでも各務原市の将来のためにやるのならやったほうがいいし、そういうところまで少し深く掘り下げて基本構想をまとめ上げていかれるといいのではないか。
(事務局)	基本構想では、建設場所はここだと確定しない。今後、市民の意見等ということで、パブリックコメントの実施、各地区別説明会など実施を予定している。基本計画では、個別の内容についてワークショップ等を開きながらいろいろなことを決めたい。
(委員)	各務原市の経済は安定している。今こそ建て替えが一番重要なときではないか。経済が成り立っていくようであれば、高齢者と深い関係がある健康管理課や社会福祉協議会は集約して建てると一番良い。

議題3 各務原市本庁舎の建設候補エリアについて

主な意見及び質疑応答
(委員長) 3つのエリアを提案しており、基本構想では具体的な場所までは確定させず、建設候補エリアとして検討したい。
(委員) 人口重心からちょっと離れておりますが、駅に近くて、またこれまで市行政の機能の立地、あるいは商業や人口の集積などの観点から、市の中心的なAエリア、こちらが最適ではないか。
(委員) Bエリアを1つの候補として挙げられた理由は何か。
(事務局) Bエリアは、人口重心、地理中心の近くで必要とする規模の用地の確保を期待できる地域という観点から選定した。市民アンケートの中にここをという意見があった。
(委員) 交通アクセスも悪く、重心と言っても周りは人口密度も高くないので、候補から外した方が良いのではないか。Cエリアは、まちづくり構想を定めれば面白い。ビジョンにつながるとか将来構想につなげたいという思いを含めて候補地を決められたらいいのではないか。
(委員) Aエリアが相対的にはいいかなというご意見がほとんどかと思う。
(委員) 駐車場のスペースがどれだけ確保されているのか。
(事務局) 庁舎を整備する場合はある程度の駐車場の面積は確保する必要がある。
(委員) 駐車場の確保しやすさとか、そういう指標の評価もあってもいい。
(事務局) 比較表の中に記載しているが、実際に建設する場合にはもう少し詳細なもので検討が必要である。
(委員長) Aエリアが相対的にはいいのではないかとということでまとめたいがよろしいか。
(委員) 了承
(委員長) 庁舎規模については、産業文化センター等の活用を含め、今後の基本計画の中で建設場所の検討に合わせて検討していくということと思うが、よろしいか。
(委員) 了承